

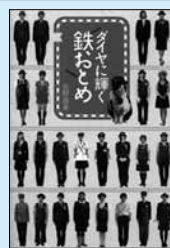
10月14日は「鉄道の日」
「鉄道を舞台とする実録・写真・歴史・小説などを紹介」



「クロカネの道
「鉄道の父・井上勝」」
江上 剛／著



「日本鉄道風景」
田中 和義／写真
今尾 恵介／風景地形解説



「ダイヤに輝く
鉄おとめ」
矢野 直美／著

「長州ファイブ」の一人として伊藤博文らと海を渡り、日本に鉄道を敷くべく、ひたむきに生きた男・井上勝。その生涯を描いた長編小説。『WEB文蔵』連載に加筆し単行本化。

著者の江上剛さんは、1954年兵庫県生まれ。早稲田大学政治経済学部卒業。第一勧業銀行（現・みずほ銀行）築地支店長時代の2002年に「非情銀行」で作家デビュー。他の著書に「抗争」「会社という病」など。

春には桜、夏の青い空と海、錦繡の山々、雪の峠越え…。日本の原風景といえる田、川、海、湿原・湖沼、山、桜の中を駆け抜けるローカル線の素朴な姿を美しい写真に留める。『週刊新潮』のグラビアを飾った鉄道風景写真集。

カメラマンの田中和義さんは、1958年東京生まれ。『FOCUS』を経て『週刊新潮』に移り、一貫して雑誌カメラマンとして活動が続ける。

新幹線運転士、新幹線車掌長、運転士、駅員など、鉄道業界に携わる女性社員たちを紹介。運転士・車掌・駅務員になるための「目指せ、明日の“鉄おとめ”」も収録する。JTB『時刻表』連載記事を書籍化。

著者の矢野直美さんは、北海道生まれ。旅をしながら写真を撮り、文章を書くフォトライター。著書に「汽車通学」「おんなひとりの鉄道旅」など。

10月の催しもの

と き	催しもの
毎週月曜日・午前 11 時～	あかちゃん絵本 よみきかせ会
毎週木曜日・午前 10 時～ 午後 0 時 30 分	あかちゃんクラブ ラッコルーム
7・21・28 日（土） 午前 11 時～	「おはなし」と 「あそび」の広場
14 日（土） 午後 2 時～	
1 日（日） 午前 11 時～ 午後 3 時～	どうぶつ将棋
8 日（日） 午前 11 時～ 午後 2 時～	子どもビデオ劇場
15 日（日） 午前 11 時～ 午後 3 時～	エコ★工作教室 「ハロウィンの お菓子バッグ」

◆展示会 本とポスターでみる「美術館・博物館」2017 秋
9/30～10/15

その他の本

- ◆『青春 18 きっぷ』ポスター紀行 込山 富秀／著
- ◆『日本懐かし鉄道大全』 櫻田 純／著
- ◆『名古屋鉄道 ～1世紀の記録～』 清水 武・田中 義人／著
- ◆『三陸鉄道情熱復活物語 笑顔をつなぐ、ずっと…
～三陸鉄道・開業30周年記念～』 品川 雅彦／著
- ◆『銀河鉄道の夜
～かけがえのない親友と、ふしぎな鉄道の旅へ！～』
宮沢 賢治／原作 柴田 勝茂／文
戸部 淑／絵 加藤 康子／監修
- ◆『仙石線殺人事件』 西村 京太郎／著
- ◆『松本清張傑作選 3 時刻表を殺意が走る』 松本 清張／著

俳句 「運動会」

けがするな母のひとこと運動会
はたがみ城な訪ひ来そ鯨替へん
鴉の声口早となりふとさびし

ふそう俳句会

川柳

弁当のバックの溜まる老い所帯
人生はこれからですと米寿いう
カラフルなオトギの国へ秋の庭

扶桑川柳クラブ

短歌 「米朝の核」

この空を米朝の核飛ばぬよう
願うのみなり無力のわれは
活気づく土用丑の日ありがたし
息子と嫁の自慢の蒲焼
花の名も沢山覚えて皆忘れ
おさなに戻る空の碧さよ

ふそう短歌会

詩吟 「磯浜望洋楼に登る」 三島中洲

夜登る百尺 海湾の楼
極目 何れの辺か 是れ 米洲
概然 忽ち発す 遠征の志
月は白し 東洋万里の秋

西村 静子

「意」夜、海辺の酒樓に登って見ると、眼の前に見渡す限り広々と太平洋が続いている。どの辺がアメリカ大陸であろうか、眺めている中に急に大きな気持が湧いて、海の向うまで行って見たい心がわいた。折から秋の白い月の光が芽えて、太平洋の大波を白く照らしている。

正風流 二代目家元 山内 正風